

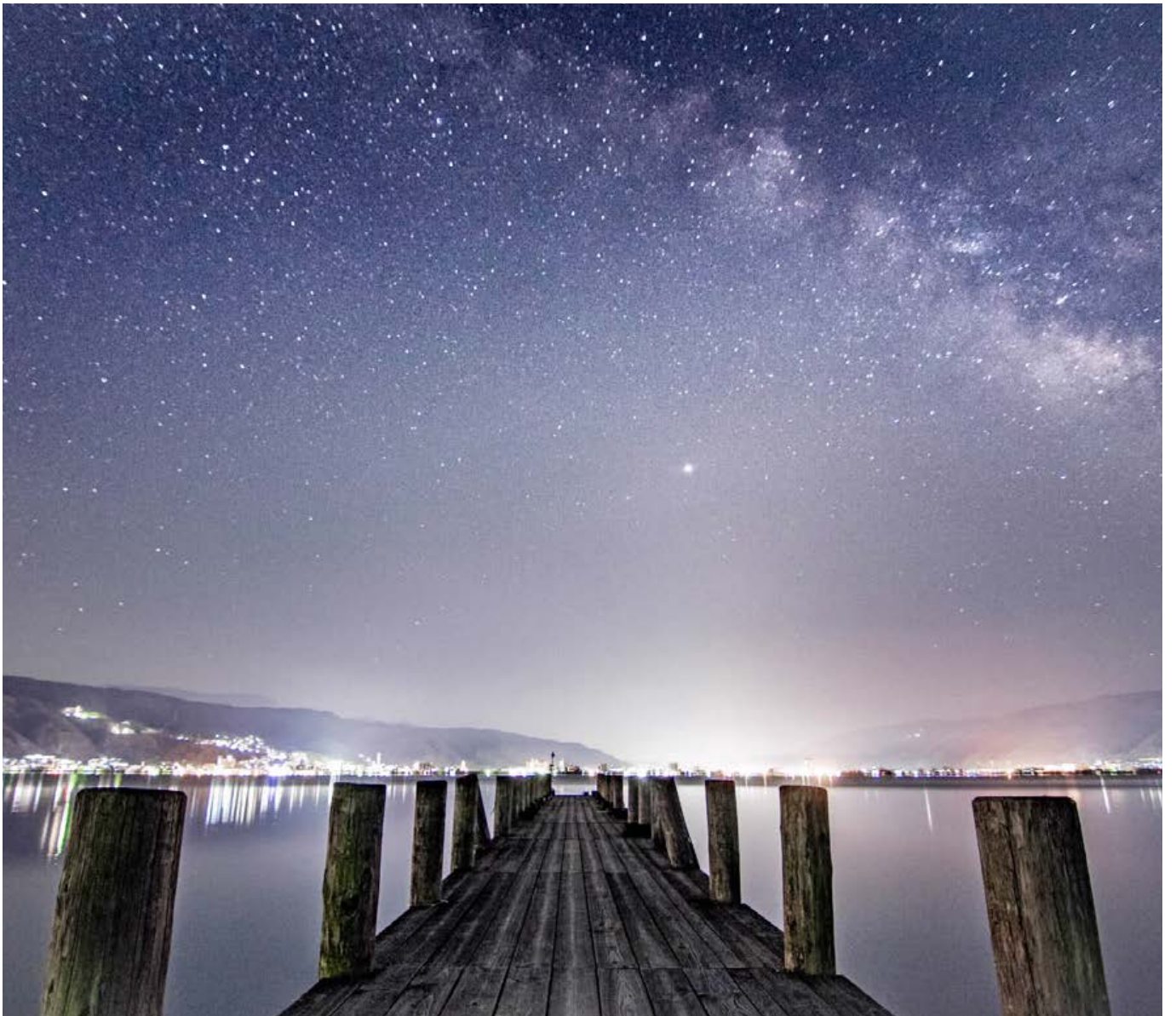
こ  
ん  
に  
ち  
は

し も す わ  
町 議 会

で す

♡♡♡ ここに注目 ♡♡♡

元気ずら コロナウイルスに負けるな……14・15P



下諏訪港から宇宙へ（撮影：福王寺 嵩平）

# 一目でわかる議決結果（6月定例会）

議案名（一部省略）	
承認	【専決処分】 税条例等の一部改正
承認	【専決処分】 国民健康保険税条例の一部改正
承認	【専決処分】 国民健康保険条例の一部改正
承認	【専決処分】 後期高齢者医療に関する条例の一部改正
承認	【専決処分】 令和2年度一般会計補正予算（第2号）
承認	【専決処分】 令和元年度一般会計補正予算（第11号）
承認	【専決処分】 令和元年度温泉事業特別会計補正予算（第1号）
承認	【専決処分】 都市計画税条例の一部改正
承認	【専決処分】 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
可決	税条例の一部改正
可決	都市計画税条例の一部改正
可決	健康ステーション整備工事請負契約の締結
可決	国民健康保険税条例の一部改正
可決	手数料徴収条例の一部改正
可決	消防団員等公務災害補償条例の一部改正
可決	長野県町村公平委員会共同設置規約の変更
可決	令和2年度一般会計補正予算（第3号）
可決	令和2年度駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
同意	固定資産評価審査委員会委員の選任
同意	東山田財産区管理委員及び同補充員の選任
同意	農業委員会委員の任命
同意	教育委員会委員の任命
意見書名	
可決	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書
可決	新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める国への意見書
可決	新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める県への意見書

## 6月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案名等（省略）	議決等結果	議員名（議席順）												
		宮坂徹	岩村清司	中村光良	森安夫	青木利子	中山透	樽川信仁	増沢昌明	松井節夫	林元夫	大橋和子	野沢弘子	金井敬子
健康ステーション整備工事請負契約の締結	可決	斜線	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×

可決・採択に対する賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

賛成・反対の主な意見は5ページ①をご覧ください。

# 意見書の審査結果

意見書第2号

委員会提案

## 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方分権時代を迎えた今日、地方議会の果たすべき役割と責任が各段に重くなっています。また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められています。

統一地方選挙に於いて、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、

住民の関心の低下や地方議員のなり手不足が大きな問題となっています。国民の幅広い政治参加や地方議会における人材の確保の観点から、地方議会議員の厚生年金への加入のための法整備を早急に実現するよう要望するものです。全会一致で可決されました。

意見書第3号

議員提案

## 新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める国への意見書

全国で新型コロナウイルス感染拡大防止のための「緊急事態宣言」が解除され、学校再開や休業要請の緩和等により、復興への取り組みが徐々に進んでいます。しかし、感染の第2・3波の襲来が懸念されること、ワクチンの開発に時間がかかること等、住民の不安は払拭されていません。感染症の影響を受けた方々の深刻な

状況を踏まえれば、更なる対応や支援の拡充が求められます。

国に対し、医療提供体制の確保や、各種支援策の拡充、地方自治体を実施する対策への財政措置等10項目を要望する内容です。全会一致で可決されました。

意見書第4号

議員提案

## 新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める県への意見書

長野県では「緊急事態宣言」が5月14日に解除されましたが、感染症の影響は深刻で、かつ今後に対する不安も大きく、更なる対応や支援の拡充が求められます。

また、学校も6月から再開されましたが、児

童・生徒・保護者の抱える不安や困難への丁寧な対応が求められています。

県に対し、PCR検査センターの設置拡充や、教育現場における十分な対応等8項目を要望する内容で、全会一致で可決されました。

議会だよりモニターの目  
表紙に好評価



27号の表紙は初めて「景色だけを狙ってみました。アンケート結果では、その甲斐あって、皆さんに「良かったよ」と好評価をいただきました。やはり素晴らしい写真は、訴えかける力があるのだと感じました。今年はシリーズ「写真家・福王寺」で素晴らしい景色を堪能してください。

「つまらないページ」のコメントの中で



「担当者にはすまないけれど、正直にこれからも答えていく！」の回答に思わず苦笑い。こちらこそ、ビジネスお願ひします。モニターの皆様にはご苦勞をお掛けします。

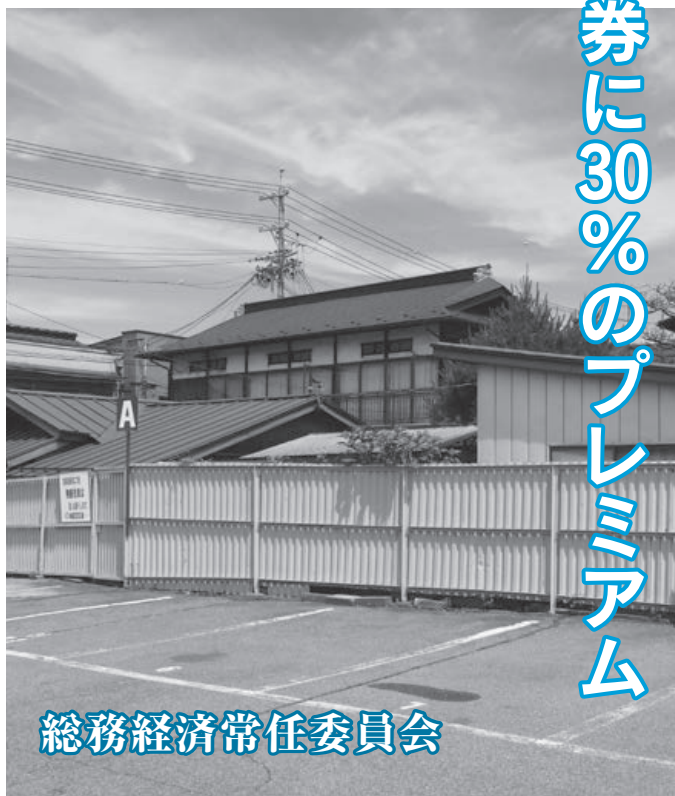
さて、議会モニターの皆様が10月末で満了します。新しい方を募集しますが、再任は妨げませんので、ぜひ…。新しい方をご紹介くださればありがたいです。(そこまでやるの？と言わないでお願いします)

(M・H)



# 商品券に30%のプレミアム

## 町を元気にしよう



購入される四ツ角駐車場隣接地

### ① 令和2年度補正予算

#### ☆プレミアム商品券に協力を

新型コロナウイルス感染症対策で苦境に立たされている下諏訪町内の商店や飲食店等を応援するために、プレミアム商品券を発行します。前回までのプレミアム率は20%でしたが、今回は30%と大変有利となっています。1万3千円分の商品券を1万円で購入します。今回の補正では1万冊分の予算ですが、さらに追加1万冊の準備を進めています。町民の協力で、町内の商店や飲食店等を応援しましょう。

#### ☆四ツ角駐車場整備が前進

整備の計画中に、隣接する土地の売却の意向が示されたことで、中断していた四ツ角駐車場について、所有者と町が合意に至ったので、全体計画が大きく変わります。当該物件の内、現状保存する母屋の土地は、公有財産として一般会計で購入し、他の土地は駐車場事業特別会計で購入、解体と整地工事もを行います。この工事の終了を待って、中断していたトイレ建設と駐車場路面整備の事業が実施される見通しとなりました。四ツ角駐車場の利便性が向上します。

#### ☆地域コミュニティ助成

自治総合センターの一般コミュニティ助成金の採択を受け、赤砂町内会へ250万円を補助します。また、長野県市町村振興協会の助成金で、清水町町内会へ230万円、第4区自主防災会へ130万円を補助します。

### ② 町税条例の一部を改正

新型コロナウイルス感染症等に係る、固定資産税の課税標準特例が新設されました。

① 「生産性向上特別措置法」の対象に、事業の用に供する家屋及び構築物が追加されました。

② 「軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減」の適用期限が半年延長され、令和3年3月31日までとなります。

③ 「新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例」を新設します。

④ 特例に規定するイベント等の中止により生じた入場料金を寄附金とみなし、税額控除されます。

### ③ 都市計画税条例の改正

税条例と同様に税制改正によるもの。わがまち特例に関するもので、新型コロナウイルス感染症等に係る先端設備等に該当する都市計画税の課税標準の特例が新設されました。

## 承認された専決処分事項

### 各種税条例の改正

・所有者不明の土地等について現在の使用者に申告を制度化し、固定資産税を課すことができることになりました。

・税制における「婚姻歴の有無による不公平」と「男性のひとり親と女性のひとり親の間の不公平」が、解消されました。

・国保税の課税限度額の引き上げ、低所得者に係る判定の見直しで、軽減対象者が増えます。

#### 新型コロナウイルス関連

#### 国保・後期高齢者医療に

#### 傷病手当金新設

・国保に加入されている方のうち勤め先から給与の支払いを受けている方で、感染や感染の疑いにより、就業できない期間が3日間を超える場合、傷病手当金が支給されるようになりました。(来年3月末まで)。

・後期高齢者医療でも、同様に傷病手当金が支給されます。

# 「健康ステーション」 整備工事に着手 新型コロナ対応補正予算可決



「健康ステーション」完成予想図

生活文教常任委員会

## ①健康づくりの拠点として

定例会初日、旧艇庫を「健康ステーション」に改修・整備する工事費、1億1715万円の契約が、審議されました。工期は令和3年2月26日まで。旧艇庫と錬成の家を切り離し、旧艇庫は耐震化した上でリフォームし、運動するスペース、事務室、トイレ、更衣室を作ります。錬成の家のトイレ、シャワー室なども改修されます。

**【反対】**「今は、コロナ対策を優先させるべきで、高額な工事費に町民理解は得られない。」

**【賛成】**「町民の健康増進に繋がる施設。何ら問題のない工事契約だ。」

採決の結果、賛成多数で可決しました。

## ②国保被保険者に朗報

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した被保険者等の国民健康保険税が、一定の要件に該当することで減免されます。対象となる国保税は、令和2年2月1日から令和3年3月31日までの間に納期限となるものです。窓口へ相談を。

## ③マイナンバー通知カード再交付が廃止

行政の電子化推進に伴い、マイナンバー通知カードの再交付が廃止さ

れました。お手元の通知カードは住所等に変更がなければ、今後も番号証明書類として使用可能。今後、マイナンバーはマイナンバーカード作成、あるいはマイナンバーが記載された住民票の発行で確認が可。新生児へは通知書が送付されます。

## ④新型コロナウイルス感染症対策

○発熱外来を岡谷市と共同で準備

今後の感染拡大に対応するための「発熱外来」を、岡谷市と共同で岡谷市民病院に設置する準備として、マスク・フェイスガード、手袋などの衛生用品の購入に50万円（180万円を岡谷市と人口割で負担）。医師会、病院等で、運営体制や開設時期等検討中。

○ひとり親世帯を応援

ひとり親世帯へ、「子育て応援商品券」2万円分を追加、郵送します。

○子どもたちの笑顔のために

新型コロナウイルス感染症の影響によって困窮した児童生徒のために、小中学校就学援助費が増額されました。学校や教育委員会では、随時、申請を受け付けます。

今回の新型コロナウイルス感染症対策として計上された補正予算の財源は、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」です。

町独自策も

## 新型コロナウイルス感染症対策に約21億円

- ・1人10万円給付の特別定額給付金の事業費と給付に関わり採用された会計年度任用職員の報酬や職員の時間外勤務手当、通信運搬費などの事務費他、計20億1001万円。

- ・令和2年4月分の児童手当を受給している方へ、6月分の児童手当の支給と併せて児童1人あたり1万円上乗せする子育て世帯臨時特別給付金 2455万8千円。

- ・0～18歳のお子さんがある家庭に、1人あたり1万円分の商品券を配布する子育て応援商品券発行 3500万円。

- ・対象店舗でテイクアウトを利用した500円以上のレシート5枚を、500円分のクオカードまたは下諏訪商連商品券と引き換えるテイクアウト応援事業 700万円。



Q 地域おこし協力隊の  
評価と今後の期待は

A 若い人が町を  
訪れてくれる



中村 光良

Q 地域おこし協力隊で退任された2人の評価は。  
A 町を愛する気持ちは強く力を合わせて活発に活動してくれた。若い人が町を訪れるようになったのは大きな成果であると言える。  
Q 新任の2人についてはどんな期待をしているか。  
A 自分の経験や得意な分野を活かして、町に新たな人の繋がりを広げてくれたらと期待している。

Q 4月に所管替えがあったが、5人の協力隊員の活



ある日の「ら。shirotori」

動形態に変化はあるか。  
A 移住定住促進担当に3人、観光振興担当に2人の配置だが、5人が一体となり活動できる形を目指す。

中・高3年生の支援を  
Q 中体連と高体連が大会中止を決めており、3年生は進路選択への不安が深刻である。是非、支援の企画をしてあげたいと思うが。  
A 校長会で今後の行事の在り方を検討している。下中・社中とも3年生を主体とした大会や発表会の検討を進めているところだ。

Q 県内唯一のボート場を持つ下諏訪ではボート場を  
む中学・高校3年生の力を

試す機会を与えてほしい。  
A 県高体連では7月開催で計画を進めているようだ。ボート協会も協力していく。  
町民同士に安心感を  
Q 新型コロナ対策で、町民同士の交流が激減している。心が通い合う安心感の再構築が必要だと思うが。  
A これまでも心を支え合う町を目指してきた。これからも心を交わし合い、安心感に満たされたまちづくりに力を入れて取り組む。

## 私たちは問いかけ提案する 一般質問



6月の定例会の一般質問は、12人が行いました。質問時間は答弁を含めて一人50分以内とし、新型コロナウイルス感染症対策として、換気のために1人が質問を終えるごとに、約10分休憩をとりました。

6P 中村 光良  
「地域おこし協力隊の評価と今後の期待は」

7P 金井 敬子  
「町独自の新型コロナウイルス感染症対策強化を」

松井 節夫  
「子ども医療費窓口無料化の効果は」

8P 岩村 清司  
「少子化問題についての考えは」

大橋 和子  
「AQUA未来の事業展開は」

9P 野沢 弘子  
「新型コロナウイルス 町の現状と課題は」

森 安夫  
「コロナ経済対策支援内容の町民周知は」

10P 増沢 昌明  
「特別定額給付金 すべてに行き渡るように」

林 元夫  
「青木町政の財政運営状況は」

11P 中山 透  
「町の臨時経営安定化資金の延長を」

樽川 信仁  
「四ツ角周辺整備事業の進捗状況はいかに」

12P 青木 利子  
「特定事業主行動計画の目標達成率は」

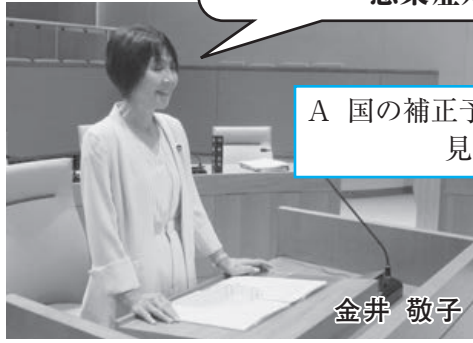
**Q 子ども医療費窓口  
無料化の効果は**



**A** 受給者数に  
大きな変化はない

松井 節夫

**Q 町独自の新型コロナ  
感染症対策強化を**



**A** 国の補正予算を  
見定め精査する

金井 敬子

**生活困窮者に無料診療を**

**Q** お金がなくて病院にかかれないうことがないようにならなければならない。生活保護世帯は医療費が無料だが、受診状況は。  
**A** 令和元年度は延べ934世帯1090人。

**Q** 諏訪共立病院は生活困窮者に無料・低額診療を行っているが、町として費用負担や補助が出来るか。  
**A** 町でもいろいろ事業をしている。共立の事業は感

**Q** 今後、再度の感染者増の波を想定し、町内の医療・介護機関や障がい者施設に対する効率的な状況把握や、衛生資材提供を。  
**A** 現場へは、町の備蓄品を配布してきた。引き続き状況把握に努めるが、ものづくり支援センターを窓口にした感染症予防対策にかかった費用の2/3、上限金額10万円を補助する「新型コロナウイルス感染症予防対策製品等補助金」を活用していただきたい。

**Q** 医療・介護施設への経済的支援を。  
**A** 個別支援については、国の第二次補正予算の内容を見定め精査する。  
**Q** 国保傷病手当の対象を、給与の支払いを受けている「被用者」以外(自営業者、フリーランスの方等)にも広げてほしい。  
**A** 傷病手当支給を町単独で実施するのは難しい。国保外の対応として、困難な状況である自営業者の皆さん方への個別支援として、

**Q** 介護支援は。  
**A** 介護フェスタを秋に予定。パワハラ・セクハラ等に関する研修会を開催する。  
**Q** 国道142号線の緊急避難場に草が生えて効果が薄れるのでは。  
**A** パトロールをして点検

**感染症視野の防災対策**

観光業者や商店に対し観光振興局を窓口にして10万円の一律支給を考えている。

**Q** 「地域防災計画」「避難所運営マニュアル」などに、感染予防の視点を加えた変更が必要では。  
**A** 各避難所の受け入れ人数再設定など、見直しを早急に行う。避難者受け入れについて、温泉旅館組合との協議を始めている。今後、災害時にとるべき行動等を

しているが、整備予定はない。



草原化した緊急避難所

**Q** 142号線沿いにトイレが必要だ。  
**A** 観光地にトイレは必要



指定避難所に配備されている「避難所開設キット」

チラシにまとめ、全戸配布を予定。改定された県の「避難所運営マニュアル策定指針」を参考に、「避難所運営マニュアル」も見直す。

**Q** 142号線沿いの倒木対策は。  
**A** 今年度、県の予定はないが、パトロールを実施して所有者に働きかけ、建設事務所には要望していく。  
**Q** バイパス用地に草が生繁っているが。  
**A** 国の管理なので、建設水道課で対応していく。

だ。慈雲寺の駐車場に望む声もある。注連掛にも大社が考えている。樋橋公会所の活用を考えている。木落し坂の件も消滅していない。

しているが、整備予定はない。



Q AQUA未来の事業展開は

A 水上防災拠点としての機能を併設



大橋 和子

Q 少子化問題についての考えは

A 大きな問題である



岩村 清司

**Q** 建設における計画から実施過程において変更された点はあるか。

**A** 平成27年から湖畔の健康スポーツゾーン構想が始まり、当初水上防災拠点という位置付けはなかったが、後に県との協議で水上防災拠点としての機能を併設した施設として整備。

**Q** 地震対策は充分に施されているか。

**A** 最も耐震基準の高いI類の耐震安全性を満たしている。

**Q** 少子化こそ、我が町・国家の未曾有の国難であると考えます。この将来の大問題を先送りすることは、将来世代への負担の押し付けになり、今から手を打たないと大変なことになると思う。町長は、どの程度の問題意識をお持ちか。

**A** 大きな問題である。国の人口減少という問題が予想以上のスピードで到来している。地方においても同様である。これからの国の施策も重要であるが、地

**Q** 健康スポーツ施設の運営は国際基準のフットサルコートなどの活用は。

**A** テニス、サッカー、ゲ



水上防災拠点としても使われる栈橋

方・町においても生み育てやすい環境づくりを推進していくことが大切だ。

**Q** 国の出生数が6月5日に発表された統計開始以来最小の86万5234人で出生率は1・36で前年から0・06ポイント低下した。下諏訪町の出生率の推移は。

**A** 5年間の推移は、

S63	～	H4	1・65、
H5	～	H9	1・55、
H10	～	H14	1・51、
H15	～	H19	1・43、
H20	～	H24	1・49。

**Q** 感染症対策における教育は最近増加傾向といわれる家庭でのDVをどのように捉えているのか。

**A** 現在感染症相談を除き、DVの報告は受けていない。

**Q** 学校再開後の、授業の遅れ対策は。

**A** 夏休みや行事の短縮などに見直して不足時間を確保できる。アンテナを高く

単年であるが、R元年は出生数93人で、出生率は1・39。

**Q** 出生率が2・0に回復すれば、人口減少に歯止めがかかり、年齢構成にバランスの取れた、安定した未来社会が期待できる。婚姻率だが（人口千人当たりの婚姻件数）国はH28で5・0。下諏訪町の現状は。

**A** R元年63件3・2で、5年間の平均で3・6。

**Q** 婚活事業の今後の取り組みは。

ラウンドが使用できないときの代替施設や健康講座など。

**Q** これからの観光施設

**A** 春宮参道横断歩道の設置などのインフラ整備計画は。

**A** 昨年6月27日諏訪警察署に、設置に向けた要望書を提出。

**Q** 星ヶ塔100周年をどのようにに観光に生かすか。

**A** 一般の方にも分かりやすく、興味が持てるような取り組みとする。

しながら対応する。

**A** 婚活プロジェクトとして行政と一体となって活動している。社協の結婚相談との連携を図り、上手く機能していると思う。



婚活チラシ



Q コロナ経済対策支援内容の町民周知は



A 全容がわかるものを用意

森 安夫

Q 新型コロナウイルス町の現状と対策は



A 町は密を防ぐ時差出勤を

野沢 弘子

新型コロナウイルス禍の対応は

Q 新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用した町独自の政策を考えているか。

A 医療、介護施設に配布するためのマスクや消毒液などの物品購入、公共施設へのアクリル板整備、子育て応援商品券発行事業など行っている。

Q 中小企業等町内の事業者への、新型コロナウイルス景気・経済の落ちこみを立て直す支援策を。

Q コロナ対策の全体像が分からないとの声がある。  
A 直接通知やホームページ等で案内している。今後、各事業毎に周知するが、全体像がわかる案内も作り町民に発信する。

樹木の管理について

Q 砥川護岸の桜は傷んでいるものも多く、既に枯れている木もある。公園などの樹木の管理は。

A 町で管理する樹木は、公園及び町道沿線の街路樹

A 町の状況に応じてスピード感を持って対応する。

Q コロナ禍で災害時の避難所情報の入手は。

A 災害時には町ホームページを災害モードに切り替えて特化した情報を発信。ヤプーとも災害協定を締結して、アクセスの負担軽減や防災アプリで避難所情報などが確認できる。

や、砥川や諏訪湖沿いの桜及び秋葉山。県諏訪建設事務所との維持管理協定で、諏訪湖沿いの緑地帯を管理。



老木が目立つ、砥川護岸の桜の木

管理内容は剪定、老木で倒

住宅火災・命を守る対策

Q 住宅火災の主な出火原因は。逃げ遅れを防ぐには。

A コンロ、たばこ、ストーブの順に多い。逃げ遅れ防止策に住宅用の火災警報器や消火器の設置、隣近所の協力体制など日頃からの取り組みが必要。

国道142号事故防止策

Q 当町で実施している死亡事故、転落事故の防止策は。

木の恐れのある場合は伐採、伐採後の植え替え等。

体育トレーニンング施設

Q 車検場、旧艇庫を改修する新施設の概要は。

A 旧艇庫「健康ステーション」にはフリーウエイト、最新のトレーニンングマシン等。車検場「健康フィールド」には自重によるケープルトレーニンング。また、雨天・冬季でも利用できるクッション性のある人工芝の運動スペースや、屋外には

A 事故検討会で対策確認、警察の取り締まり、ダミーパトカー設置、路面標示等。

Q 旧イオン周辺買物困難者に「やしマルシェ」で救済を。

A 現状では困難



令和2年5月に設置された減速対策の標示

国際基準のフットサルコート1面分の広さの多目的運動場を整備。

Q 体育館のトレーニンングルームの位置づけは。

A 体育館に有るのは、有酸素系のトレーニンング用具やフリーウエイトを中心とした用具。設備は古くも、自己研鑽型のトレーニンング施設として生かす。新施設は、近隣にない特色ある最新設備を備えた施設として、子どもから高齢者までの多様なニーズに添えていく。

Q 青木町政の  
財政運営状況は

A 基礎的財政収支も  
好転している



林 元夫

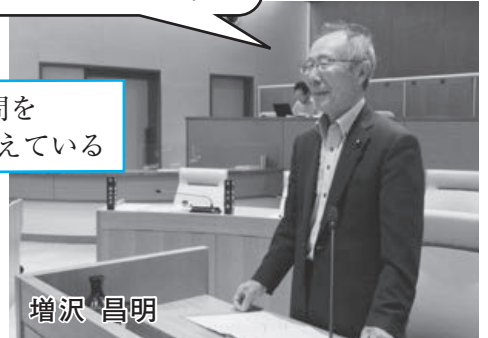
**A** 基礎的財政収支は、H23年度から赤字に転じているが、H29年度からは収支・単年度収支も黒字化。地方債残高は上昇しているが交付税措置率は60%以上で問題ない。

**Q** 平成18年度に策定された行政経営プラン策定時の思いは。

**A** 就任時は合併がとん挫し、国では三位一体改革で交付税の減少が見込まれていた。総合計画をまず見直し、行政プランで将来の

Q 特別定額給付金  
すべてに行き渡るように

A 各戸訪問を  
考えている



増沢 昌明

**Q** 学校再開後の子どもたちの様子は。

**A** 学校生活に慣れるのに時間がかかっている様子がみられる子どもがいたが、日が経つにつれ、普段の様子に戻りつつある。

**Q** 臨時休校により失った学習時間を、どのように取り戻すか。

**A** 夏休みの短縮や学校行事の縮小などにより、遅れを取り戻す予定だが、評価によっては次年度あるいは次々年度に持ち越すことも

コロナ禍の現状と課題



6月から再開された南小学校

考えている。

**Q** 町内の現状と町の支援策は。

**A** 方向性を示せた。

**Q** 印象的な事業は。

**A** 構造改革が必要で、人件費の2億円削減が職員の協力でできた。伏見屋邸をまちづくりに利用するため、国に赴くなど苦労したが、国の予算を活用できたことが印象深い。防災公園化事業で、不良債務が無くなり、今年完成できたことは、本当に良かった。

**Q** これからの財政についての展望は。

**A** 健全財政にあり、これ

**Q** 商工会議所のアンケート結果でも、63・8%の企業が影響を受けているという状況で、今後も影響が出てくると回答している。資金繰り、販路開拓、雇用確保を求める声が多数聞かえる。町は、資金調達支援やテイクアウト応援などで事業者を支援している。

**Q** 特別定額給付金をすべての対象者に届けるように。

**A** 100%届けることを目標に、町職員は日曜日も出勤して対応している。未

**Q** 「防災意識日本一の町」づくりの評価は。

**A** 承知川は18年に激甚災害になり苦労した。ここが防災意識日本一の原点。あの意味で災害時に行政は無力で、自分の身は自分で守ることが必要。防災士など人づくりも進んだ。

**Q** 高齢者に優しいまちづくりの実現度は。

**A** 基本的に、高齢者の活躍する場を作るように工夫

からも同じようにしていけば、健全性を維持できる。

**Q** 「防災意識日本一の町」づくりの推進していく。

**A** 大変貴重なもので、文化財としてなくてはならないものだ。所有者との話し合いの場を今後設け、有識者の意見も聞きながら、可能な支援や協力をする。



完成した赤砂崎公園

してきた。今後も地域で活躍できる環境を創出することが必要だ。支え合いのまちづくりを推進していく。



Q 四ツ角周辺整備事業の進捗状況はいかに



A 順調に進んでおります

樽川 信仁

Q 町の臨時経営安定化資金の延長を



A 状況を見ながら延長する

中山 透

### コロナの学校への影響は

Q 臨時休校への対応は。

A 4月の休校については、新学期開始後の一週間で、児童生徒に説明。保護者へはプリントを通じて連絡。

Q 休校中の対応は。

A 町内4校の地域性を見ながら対応。教員は個別訪問や電話連絡。緊急事態宣言後は、週1回の連絡日を入れて、学習指導や相談に乗っていた。

Q 休校中の家庭学習の評

価は。A 各自のがんばりは、再開後の授業に反映されている。

Q 小6、中3の授業はどのようにしていくのか。

A 現状の日数で、問題なく対応できるが、今後の流行によって休校になれば、土曜日の半日対応も検討。

Q 授業のICT化は。

A 国は本年度中に、児童生徒の環境を把握して一人1台の準備をしていく。今後、国の動きに注視している。

Q 旧武井医院の取り壊しの内容、状況及び展望は。

A 母屋と土蔵を除いた大社通り側の病棟の解体を行っている。終了予定は8月中旬と諏訪建設事務所より報告を受けている。今後の展望は四ツ角周辺整備関係機関代表者会議を行い、武井家の意向も伺いながら検討していきたい。

### コロナ対策

#### 要望の実現は

Q 会議所からの要望書の

### 経済への影響は

Q 町の制度融資の状況は。

A 5月までに受け付けた申請は80件。7億3165万円、全て運転資金。

Q お舟祭り中止について。

A 代わるイベントを考えている。商工会議所でも2つの企画を実施する意向。

### 財政への影響は

Q 法人税の状況は。

A 大変厳しい状況。

### 四ツ角駐車場の進捗状況

Q 町が買い上げた家屋は。

A 3棟のうち2棟は解体して、1棟はリノベーションして再利用したい。

Q 管理棟の移転は。

A 更地にしてから設計についてみんなで話し合っていく。

Q 新しいトイレ等の設置場所は。

A 解体家屋の場所を予定しているが、これもまちづくり協議会などと協議していくつもりである。



取り壊しの決まった家屋



しもすわテイクアウト応援キャンペーン

Q 来年度への影響は。A 国の地方税減収補てん特別交付金等の活用や今年度予算内の財源振替を行い、健全財政に努めたい。

くり協議会などと協議していくつもりである。

## 議会掲示板

ここでは、議会が行った活動や議会からのお知らせを掲載します。

### 新型コロナウイルス感染症対策に関わる議会の対応

5月1日

新型コロナウイルス感染症対策の影響は、当町でも深刻です。4月16日の「非常事態宣言」を受け、飲食店・旅館などの営業自粛や学校の臨時休校が継続される中、「仕事や生活に、困難や不安を抱える町民の声をしっかり把握し、町に届け、支援策の具体化を求めよう」と、議会全員協議会の協議を経て、青木町長に要望書を提出しました。

既に町対策本部の協議を経て、「テイクアウト応援キャンペーン」や子育て世代への商品券配布等の独自支援策が打ち出されている段階でしたが、要望した項目は、「特別定額給付金が一刻も早く町民に届くよう最大限の努力を」「町民生活の安定を図るため、町独自の更なる経済的支援を」「臨時休校が続く中、子ども・保護者に対する支援体制の強化を」等、全10項目。



6月17日

議会運営委員会と2常任委員会および3特別委員会で協議の結果、今年度の視察研修は行わないことに決定しました。これに充当予定だった議会費130万円を減額し、その分を新型コロナウイルス感染症対策に活用してほしい旨を、青木町長に申し入れました。

Q 特定事業主行動計画の目標達成率は

A 女性課長と補佐で5.5%増



青木 利子



Q H28年に女性活躍推進のための特定事業主行動計画が義務づけされたが。

A 管理的地位に占める女性の割合はH28年度5・6%だったが、R2年度は11・1%（課長1、課長補佐1）に。男性の配偶者出産休暇の取得割合はH28年度の0から、R元年度は37・5%に。

Q 人材育成の取組は。

A 毎年諏訪広域連合主催の研修へ女性職員4人を派遣。県等への派遣9名中4

Q オンライン会議の開催は

A 商工会議所はオンライン



令和2年度のポスター

名が女性。他の機関での実践的经验が、帰町後の業務に生かされている。

Q セミナーを開催したが情報機器をどう活かすのか。

A ミーミーセンタースラブで地域おこし協力隊がフェイスブックでのライブ配信や動画配信を実施。遠距離で移住相談等の活用もできる。オンラインは技術的問題も少なく、費用も導入にかかる手間も少ないため、すでに実践として会議で活用している。ものづくり支援センターと連携し、オンラインセミナーの開催を進めていきたい。

Q 庁舎のLEDは未整備。今後の計画は。

A コロナ関係でオンライン会議が広がっていると承知している。新しい協力隊の面談をオンラインで実施したが、結構使えるものだと認識。企業へは、ものづくり支援センターで10万円を上限に補助する。庁舎のLEDは回線の方式等の内容を研究し、前向きに検討する。



# タブレット導入等 議会の活性化を研究



## 議会運営委員会視察研修報告

令和元年度の議会運営委員会の視察研修は1月、大阪府泉大津市、大阪府八尾市に伺い、議会の取り組みについて研究しました。

### タブレット端末導入の効果

…泉大津市

泉大津市は、人口7万4659人。議会は、議員条約定数16名（女性議員は3名）で構成されている市です。

#### ① タブレット導入までの経過

平成29年の4月、ペーパーレス化を推進するために専門部会を設置し、8月までに5回開催。その間、削減効果や費用面、タブレットの活用範囲・契約方法の検討。導入スケジュールの確認など業者によるデモの開催なども並行して行いました。平成29年9月に議会運営委員会より検討結果を報告し、12月定例議会で補正予算を計上して、翌年1月入札を行いました。

#### ② タブレット導入の目的

- ① 議員の利便性を向上させる  
議案、参考資料、会議などの招集通知など、タブレット端末があればデータの受け渡しができるのでいつでも受け取れる。
- ② 過去の資料も含めて、資料の携行ができる。
- ③ 膨大な資料の中から、検索機能で

必要な資料を素早く簡単に呼び出せる。

#### ④ ペーパーレス化の効果

用紙代・コピー費用など経費削減、資料編集・ホッチキス止め・配布など労務の削減により作業時間が大幅に削減ができる。また、副次的な効果として、議案書など急な修正業務などが改善される。



### 大阪経済法科大学との地域連携、大自 然災害発生時の議会対応要領

…八尾市

八尾市は人口26万6593人。議会は、議員定数28名で構成されています。

#### ① 大阪経済法科大学との

##### 連携の取り組み

知的資源を集積し、研究を進める大学と市議会が連携することで、市議会の政策立案機能を強化すること、学生に対しては実務経験の提供など、

双方の発展と充実に寄与することを目的に平成24年より行われています。

具体的な取り組みでは、学生の職場見学や体験の場の提供、市議会だよりなどへの大学連携の記事の記載、インターン生による議会開会ボスター作製などが実施されています。

#### ② 大規模自然災害発生時の議会の役割についての「対応要領」策定

「大規模自然災害発生時の議会の役割を調査する特別委員会」が平成24年6月に設置され、「対応要領」が作成されました。

- 「対応要領」の内容は、
- ① 八尾市議会災害対策会議の常設
  - ② 議会における大規模自然災害発生時の対応要領
  - ③ 大規模自然災害時の議会の対応
  - ④ 安否確認の徹底
  - ⑤ 八尾市地域防災計画における災害対策組織の変更
- などが明記されました。

### これからの議会改革に

泉大津、八尾両市の議会では、多様な改革が行われていて、参考になりました。とりわけタブレットの活用は、事務処理の軽減や議員と議会事務局との情報共有などで大きな力を発揮していることを学んできました。

# コロナウイルスに負けるな



## 明るい素敵な

### 両角優美さん

「しもすわ大好き！」な人々に元気をもらおうと、突撃取材しました。お話を聞きしたのは、新・旧の「地域おこし協力隊」移住定住部門の皆さんと、町内で飲食店を開業準備中のご夫婦です。

諏訪市出身で、東京でのOL歴8年という彼女。都会の早いリズムが自分に合わないと思いつき、出身地の近くに仕事を探すと、「交通会館」で

町の職員に出会ったと言います。花、虫、動物など四季を感じられる町で、何より歴史に興味を惹かれるとのこと。将来「下諏訪の歴史に刻まれる人」になりたいと、はにかみます。「人」のつながりで移住してきたとき、「その人」になりたいのだと。



リモートで仕事ができる環境づくり、後継者のいないところとのマッチングや移住希望者に1・2週間滞在する場所の提供が出来ればとの提案も。「人の数だけ色々な人生がある。下諏訪に来ることは初めて自分で決めた。自分が一番楽しいと思える人生が送られれば良いと思う」と言葉を締められました。とにかく明るい素敵な方です。

## 目を輝かす魅力的な

### 長津友美子さん

山登りが趣味で、3年ほど山小屋で働いたほど。八ヶ岳に登り、愛知県から移住した友人の元を訪れたのが、下諏訪との出会いだとか。神奈川県出身です。車がなくても足で生活できるコンパクトさが心地良いと言います。人が話しかけてくれて、

次の行動につながる対話があり、余韻に浸れる町が下諏訪だと。この町には夢を持っている人がたくさんいて、そんな人の夢の実現のために背中を押しながら、自分の夢も探したいと。



全国的に下諏訪をPRして「下諏訪ブランド」を知ってもらおうべきで、目に止まる仕組みづくりが出来れば良いかと語ります。「今までは受け身の人生、変化を好まない現状維持派だった。自分で動けば人生は変わると実感している。やりたい事があったらどんどん動こう」と目を輝かせていました。

## うーん

### 素晴らしい！ 高橋幸二さん

移住したいと複数の候補地を巡りましたが、来町し両角さんらと出会い、朝陽・夕陽の風情に「もうここだ！」と感じたそうです。実際に住んでみてストレスを感じない、住み心地がよく「最高」と満面の笑みを見せてくれました。以前は不動産屋など主に営業の仕事。気の配り方は、お茶を入れてくれるなど半端ありません。神奈川県出身でバイク・ツーリングが



町のリビング「ら。shirotori」に  
ぜび足を運んでみては

が趣味の方です。「目指すは、ミスターコマツ」と観光案内所の小松さんにベタ惚れの様。歴史の継承が出来たらと、木遣りや長持ちもやりたいたと燃えています。諏訪湖という良い素材を生かし切れていないので、カヌーとか立って漕ぐサーフィン（スタンドアップパドルボード）など、もっと普及出来れば楽しいと語ります。地元の方に認められる仕事をしたことも。「お客様に喜んでもらうため仕事をしてきた。親身に対応すればお客様も応えてくれた。それを生かして町の人の関係性を築きたい。人が好きで、人のために生きたい。」うーん素晴らしい人です。





「Chio ko」という会社をご存じでしょうか。この4月に地域おこし協力隊を卒業した今野由香里さんと綿引遥可さんが設立した会社です。名前はズバリ「地域おこし」に由来しています。3年間の活動の中から生まれました。〝小さくても良いので、地域活性化のために黒子の役割を担いたい〟と、目を輝かせています。塩尻市生まれで、東京に住んでいた今野さん。茨城県出身の綿引さん。マスマゲストハウスやリノベーションツアーに参加して下諏訪町を好きになった二人。歩いていると声をかけてくれ、人の温かさに触れたことや諏訪湖から見る富士山の風景に惹かれたといいます。



夢が満載！

Chio koが元気をくれるよ

色々やってきましたが、特に「小商い」に力を入れていきます。今も、もんぺ・Tシャツ・マスクの小商いを手伝って展示・販売しています（今号発行の前には終了）。これから小商いのためのセミナー開催などを企画しています。卒業してもなお地域の魅力発信に尽力していただいています。

「将来の夢は」の問いに、今野さん「自分の好きなことを仕事にする人が増え、楽しい暮らしができる人が増えればいいな。移住して子育てする人の見本になりたい」。綿引さん「自分の普通さがコンプレックスであったが、普通の人でも地方でも楽しく自分らしく暮らせる人の見本になりたい」。

そして、もっと空き家を活用できるように！駐輪場が欲しい！など注文もいただきました。下諏訪町に欠かすことのできない存在に、二人はなっています。元氣と笑顔の二人。皆さんも彼女たちの元を訪れてみてはいかがでしょうか。二人の美人の笑顔に魅了されること間違いなし！



今野由香里さん

綿引遥可さん



「ちいっこ商店」面白いよ



夫婦で取材に応じてくれたのは、伊藤慎太郎さんと妻の奈々さん。そして愛息の拓郎君は1歳。去年の11月にアパレル関係の仕事に見切りをつけて来町し、今年7月には駄菓子、ビールとコーヒーの店「ちいっこ商店」を御田町に開店するため頑張っています。温泉が好きで、どこでも行くという二人。下諏訪に来て、出身の東京・浅草に帰ると、また来たくなったといいます。



人との関わり合いがあり、水の音・風の音が新鮮だとも語ってくれました。言葉の端々に下諏訪が本当に好きでたまらないことが伝わりました。ここまで好きになってくれているとは！嫌いにならないように、良いまちにしようと私たちはもっと努力しなくては。そんな気持ちになりました。

東京育ちで免許のいらぬ環境だったので、ここでは自転車を利用してのようで、自転車の乗りやすい道、バスの本数を増やして欲しいとも語っていますが、何しろ下諏訪に来て満足だと言います。店がオープンしたら、是非お立ち寄りください。新たな出会いに感激しますよ。

## 議長をつぶやき

### お舟祭りのことども

議長 宮坂 徹



コロナ禍のなかで、お舟祭りの催しが中止になりました。大変残念ですが、仕方ありません。そこで、この際お舟祭りのことを書いてみようと思います。

今の姿は「お舟曳行」と言っただけですが、明治17年刊行の『諏方土産』に描かれている岩波其残の画(上記写真)を見ると、若い男衆が禪一つの裸姿で担いでいます。明治のころまでは曳くのではなく担いでいました。現在の胴棒はその名残りなんです。当時の様子が再現出来たらお客さんを大勢呼ぶことができるかもしれません。延文元年(1356)に成立した「諏方大明神画詞」に遷座の行列の記事があり、そこに「次に渡物銚山あり」と書かれています。銚山は、神の

依り代であろう山形を作りその上に銚を立てたものといひ、おそらく輿として担いだのではないかと思ひます。具体的な形状は不明ですが、お舟ではなかったのは確かなこと。何時のころから「お舟」になったのでしょうか。

因みに、江戸時代までの遷座の神事は、1月1日と7月1日に行われていたが、明治時代になって2月1日と8月1日に変わりました。

時代や社会の状況とともに変化してきたこの祭り。今では地域の人々の心の拠り所として親しまれています。こんな機会に元の姿に思いを寄せてみるのも一興。これからのように伝えられていくでしょう。

## 編集後記

平成26年4月発行の議会だより3号の編集後記を書いてから、早いもので6年が経過しています。少しずつ工夫を重ね、読みやすい読まれる議会だよりにと奮闘してきました。今も…。皆さんに努力が認められた委員 大橋和子

の特別企画は、皆さんに少しでも元氣になつてもらおうとインタビュー記事としましたがいかがだったでしょうか。反響が気になるところです。(M・H)

広報特別委員会  
委員長 金井敬子  
副委員長 松井節夫  
委員 中村光良  
委員 樽川信仁  
委員 林元夫  
委員 大橋和子

## 好きです しもすわ



地域おこし協力隊 牧原 帆奈美

### 「暮らしの日常が魅力！」

昨年9月から、下諏訪町の地域おこし協力隊になりました。普段は、しもすわ今昔館おいでや内の観光振興局で働いています。

活動としては、グラフィックデザインを中心に、ポスターやフライヤー、イラストなどの広告物を制作。また、情報発信としてInstagramでは下諏訪町のガイドブックには載っていない、知る人ぞ知る魅力を紹介する「shimosuwa\_trip」を始動しました。まだまだ知らない人・こと・ものばかりなので、教えてもらえると嬉しいです！ぜひフォローもお願いいたします！

私が下諏訪町に移住したきっかけのひとつが、町のひとがあたたかく親切だったこと。実際、下諏訪暮らしがはじまり、さらに「暮らしの日常」が魅力だと感じました。下諏訪で感じた魅力を、今後新しい情報発信の仕方を取り入れながらも、昔から変わらない人・歴史・文化などを記録し、伝えていきたいと思ひます！

また商品開発も企画中なのでおたのしみにも◎

## 議会だよりモニターを募集 議会だよりにご意見を!!

- ◆活動内容  
議会だよりについて意見を述べていただくアンケートに回答していただく  
モニター会議へ参加していただく など
- ◆任期  
委嘱された日から2年間
- ◆対象  
議会の広報・広聴活動に関心を持ち、公正な社会的見識を有する町民の方(町職員を除く)
- ◆募集定員  
15人以内
- ◆申込方法  
8月20日(木)までに電話で  
議会事務局 ☎27-1111(内線302)へ氏名・年代・住所・電話番号をお申し出ください。